

関連科目、教科書および補助教材	
関連科目	国語IV
教科書	
補助教材等	プリント
学習上の留意点	
<p>各課題について、「(1)ロジックツリーでアウトラインを作る→(2)グループで各自のロジックツリーについて討議しあう→(3)修正したロジックツリーを全員の前で発表し、討議する→(4)修正したロジックツリーをもとに小論文を作成して、提出する」という作業を行う。慣れるまで、論理的なロジックツリーを作成するのは簡単ではないが、予習として作ってこななければならない。</p>	
担当教員からのメッセージ	
<p>わかりやすい表現の仕方をしっかりと理解し、論理構造の明確な小論文が書けるように努力してもらいたい。各課題は、大学院入試問題である。</p>	

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス わかりやすい表現①	授業の進め方を理解する。	(復習)わかりやすい表現にするための課題を解く。
2	わかりやすい表現②	表現をわかりやすくするには、どうすればいいかを理解し、わかりやすく書くことができる。 文章の最小単位であるパラグラフの構造を理解し、活用できる。	(復習)わかりやすい表現にするための課題を解く。
3	わかりやすい表現③	文を構成する言葉のつながりをわかりやすいものにする方法を理解し、実践できる。 構文図の書き方を理解する。 パラレリズムの重要性を理解し、活用できる。	(復習)わかりやすい表現にするための課題を解く。
4	ロジックツリーの作り方	ロジックツリーの作り方を理解し、ロジックツリーによるアウトラインを作成できる。ロジックツリーから、小論文にする方法を理解できる。	(予習)課題1のロジックツリーを作る。
5	課題1	グループでロジックツリーについて討議しあい、修正することができる。	(復習)ロジックツリーを修正し、小論文作成のための準備をする。
6	〃	修正したロジックツリーを口頭発表し、全体で討議し、小論にできる。	(予習)課題2のロジックツリーを作る。
7	課題2	グループでロジックツリーについて討議しあい、修正することができる。	(復習)ロジックツリーを修正し、小論文作成のための準備をする。
8	〃	修正したロジックツリーを口頭発表し、全体で討議し、小論にできる。	(予習)課題3のロジックツリーを作る。
9	課題3	グループでロジックツリーについて討議しあい、修正することができる。	(復習)ロジックツリーを修正し、小論文作成のための準備をする。
10	〃	修正したロジックツリーを口頭発表し、全体で討議し、小論にできる。	(予習)課題4のロジックツリーを作る。
11	課題4	グループでロジックツリーについて討議しあい、修正することができる。	(復習)ロジックツリーを修正し、小論文作成のための準備をする。
12	〃	修正したロジックツリーを口頭発表し、全体で討議し、小論にできる。	(予習)課題5のロジックツリーを作る。
13	課題5	グループでロジックツリーについて討議しあい、修正することができる。	(復習)ロジックツリーを修正し、小論文作成のための準備をする。
14	〃	修正したロジックツリーを口頭発表し、全体で討議し、小論にできる。	小論文を作成し、提出する。
前期末試験			
15	まとめ 授業改善アンケートを実施する	全体の学習事項のまとめを行う。 授業改善アンケートを行う。	
総学習時間数			90時間
講義			30時間
自学自習			60時間

関連科目、教科書および補助教材	
関連科目	国語IV
教科書	
補助教材等	プリント
学習上の留意点	
<p>「科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金／科学研究費補助金)は、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」(研究者の自由な発想に基づく研究)を格段に発展させることを目的とする「競争的研究資金」であり、ピア・レビューによる審査を経て、独創的・先駆的な研究に対する助成を行うもの」である(日本学術振興会HP「科学研究費助成事業」より引用)。本授業では、この科学研究費助成事業に申請するという想定で、その必要書類を作成する。</p>	
担当教員からのメッセージ	
<p>「自分の研究が世の中の何に役に立つのか」をしっかりと考え、それを文章で表現する力を鍛えていきます。苦労はしますが、本授業で取り組むことは、文章力向上のみならず、研究に対する基本的な姿勢を育むことにも繋がっています。</p>	

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス わかりやすい表現①	授業の進め方を理解する。	復習: わかりやすい表現にするための課題を解く。
2	わかりやすい表現②	表現をわかりやすくする方法を理解できる。 文章の最小単位であるパラグラフの構造を理解し、活用できる。	復習: わかりやすい表現にするための課題を解く。
3	わかりやすい表現③	文を構成する言葉のつながりをわかりやすいものにする方法を理解し、実践できる。 パラレリズムの重要性を理解し、活用できる。	復習: わかりやすい表現にするための課題を解く。
4	ロジックツリーの作り方	ロジックツリーの作り方を理解し、ロジックツリーによるアウトラインを作成できる。ロジックツリーから文章を作成する方法を理解できる。	復習: ロジックツリーによるアウトライン作成について、理解しておく。
5	科研申請書作成①	科研申請書の完成を目指す。途中、各項目についての口頭発表を行う。	復習: 科研及び科研申請書について理解する。自分の研究でやりたいことを整理する。
6	科研申請書作成②	・ロジックツリーを用いて、自分の研究の現状や問題点、今後展開したいこと等を整理する。 ・各項目を書きながら、繰り返しアウトラインの訂正を行う。	復習: 課題に取り組む。
7	科研申請書作成③	・各項目同士の繋がりを明快に示す。 ・文と文のつながりを推敲する。 ・自分の専門分野以外の者にもわかるような表現を模索する。(研究者としての説明責任)	復習: 課題に取り組む。
8	科研申請書作成④	・口頭発表によって、お互いの批評やアドバイスを 行う。 ・科研申請書を完成させて、提出する。	復習: 課題に取り組む。
9	科研申請書作成⑤		復習: 課題に取り組む。
10	科研申請書作成⑥		復習: 課題に取り組む。
11	科研申請書作成⑦		復習: 課題に取り組む。
12	科研申請書作成⑧		復習: 課題に取り組む。
13	科研申請書作成⑨		復習: 課題に取り組む。
14	科研申請書作成⑩		科研申請書を作成し、提出する。
	期末試験		
15	まとめ 授業改善アンケートを実施する	全体の学習事項のまとめを行う。 授業改善アンケートを行う。	
総学習時間数			90 時間
講義			30 時間
自学自習			60 時間